



「琴瑟相和す」

三箇日の初詣。冷たい空気が気持ちよい。
神前で手を合わせて頭を垂れる一瞬は、自分の心と対話する時間でもある。
琴瑟相和す。

それぞれが互いに奏でる音調が響きあい、よい雰囲気醸し出している。
共に集う仲間と、長年連添った夫婦、いざという時に助け合う兄弟に、
さらに広げて家族があり、地域があり、社会が動く。
新年に願うもの。

小さな願いも重なれば、大きな世界を動かせるのだろう。

1月のできごと

1日	新年のご挨拶 中山芸能保存会・獅子舞 参上	10日	書道クラブ・書初め(風和の里)
1日	～初詣(全事業所)	11日	鬼火(風和の里)
3日	生長の家に参拝いたしました。	12日	新年会(せいひ会)
2日	書道クラブ・書初め(元亀の里)	14日	誕生会(通所・元亀の里)
4日	鬼火(元亀の里)	15日	陶芸教室
5日	餅☆餅食べ放題(GH)	16日	大根収穫(GH)
6日	正月遊び(風和の里)	16日	書道クラブ(元亀の里)
	すごろくや福笑いなどを楽しみました。	24日	書道クラブ(風和の里)
			GH一瀬ハル様100歳のお祝い

★お誕生日おめでとうございます★



今回は元亀の里・吉田彌市様にお話を伺いました。

大正12年1月20日生まれ。生まれも育ちも西海町。お酒好きの吉田氏は、お酒がきっかけで知り合った女性と徴兵前に結婚した。奥さんは、男性相手の仕事ただけに、器量よしの活発な女性。「良か娘やった～」と顔がほころぶ。

20歳に大村歩兵第46連隊に入隊。その後、短期育成の即戦力要員としてであろうか、半年間軍医について研修したのち、看護兵として終戦まで任務についていた。直接前線に出る事は無かったが、後方においても戦病兵の看護で銃を片手に負傷者を担架に乗せて戦渦を抜けた。暖かい場所行くとマラリアやその他の伝染病の患者を多く見てきた。台湾、朝鮮、満州、中国、シンガポールに香港と渡り歩いたそう。イギリス領土だった中国では、様々な国の人々が行きかう。軍人であったり、商人であったり……。そんな異国人との出会いは吉田氏にとってとても興味深い体験であったと語る。白地に赤十字の腕章をつけていたため、傷をおったイギリス軍の兵士が治療してくれと呼び止めることもあったそう。

戦後、西海町に戻ってきた吉田氏は、百姓となり、みかんや稲、ジャガイモ、さつまいもなどを作っていた。奥さんは吉田氏が70歳の時に他界。「あれから15年間一人ぞ」と人恋しい様子。カ仕事をしてきただけあってがたいのよい吉田氏は、清水の次郎長に似た貫禄のある顔立ち。男の青春いまだ覚めやらず、若い頃の男前加減が思い浮かんでくるようだ。今は孤軍奮闘なれど？いつまでも気持ち青春、良い出会いが訪れますように。

待てば回路の日和あり！？お誕生日おめでとうございます。

Vitality Space

バイタリティー・スペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動にはこのバイタリティーの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。

うたの時間

隔週水・土曜日十四時風和の里にて開催中。

<p>年明け 梅にうぐいす 待ちどろしい</p> <p>酒井ミネ</p>	<p>あま酒に 身も引き締まる 初詣</p> <p>はなえ</p>	<p>初詣 身の引き締まる 心地よさ</p> <p>茅原武知</p>	<p>母の歌 聞いているうち 早送り おもしろいので つい笑う</p> <p>濱里娘</p>
<p>歳の瀬せまり 気ばかり焦る 今日この頃</p> <p>酒井ミネ</p>	<p>水仙を ぐつと近づけ 匂い嗅ぐ</p> <p>本本誠一</p>	<p>ひ孫の 新年挨拶 おませ顔</p> <p>井上ナルミ</p>	<p>百花百種 咲き匂う 真珠の輝き 笑顔と姿</p> <p>平田イエ</p>

ここに載せられなかった作品もたくさんございます。ぜひ、見に来て下さい。

<p>寿</p> <p>岩崎和子</p>	<p>夢</p> <p>田坂晴子</p>	<p>初夢</p> <p>山川由喜男</p>	<p>賀正</p> <p>山川豊</p>	
<p>夢</p> <p>河野ミエ</p>	<p>希望あれば 雨の道も 楽し</p> <p>中澤初子</p>	<p>梅香</p> <p>森山万吉</p>	<p>昇る</p> <p>森章</p>	<p>志比須 大黒</p> <p>二ノ坂喜園</p>



1月12日。風和の里のふくろうホールには、総勢200名あまりの笑顔があふれかえっていました。春が待ち恋しくなるような琴の音色に人情戯る迫力ある踊り、福を舞い込む大黒舞を肴に酒を酌み交わし、健康願ひ獅子に噛まれれば、喜色満面この上なし。彩り美しい3種ご飯が入った新春弁当も絶品でした。



「もういくつ寝るとお正月。お正月には〜♪」こんな歌がありますね。歌の中では、凧あげて、コマを回して遊んでいます。すごろくやカルタ、福笑いなども正月を感じる遊びの一つですね。正月の締め括り、厄払いの鬼火焚き。鏡餅もしっかりおいしくいただきました。新年の抱負を語り合い、家族団らん日本の風習を楽しみました。



心温まる三枝家のイルミネーションストーリー

冬の冷たい夜にキラキラ光るイルミネーション。施設に入っている母親に少しでも寂しい思いをさせないようにと始めたそうです。年々バージョンアップして、今回「きゅうでんイルミネーションコンテスト」個人の部で金賞を受賞されました。元亀の里の1階から見えるこの景色を夜になるとじ〜と眺め微笑む姿がありました。

編集後記 新しいコーナー「ケアマネの独り言」が今月からスタートしました。お酒と巨人をこよなく愛し、不撓不屈の精神でこの世を生き抜く!?ケアマネ敏さんのコラムです。「スクールウォーズ」という番組名が出てくるところに親近感が沸いてくる方も多いのではありませんか?「スクールウォーズ」。いかにも敏さんにぴったりの青春ドラマだと思ったのは私だけでしょうか。敏さんという人物が分かる人も分からない人もやんちゃさと真面目さのギャップに大いに楽しんでいただけたらと思います。(佳)

ケアマネの独り言
高校ラグビー・都道府県対抗駅伝を観戦して・・・
いや〜、今年の長崎北陽台フイフティーンの活躍はすごかったです。初戦からシード校を撃破。その後も勝ち進み、見事ベスト4。準決勝では優勝候補筆頭の伏見工業（TV：スクールウォーズ・泣き虫先生の100日戦争のモデルとなった学校）に惜しくも負けましたが、見事な戦いぶり、胸にこみ上げてくるものがありました。何年かぶりに感動している自分に驚きました。また、駅伝のほうでは、長崎県勢としては不本意な結果ではありましたが、ゼッケン42（長崎県の番号）を見るとまたまた、感激。めったに観ない駅伝を男女とも最後まで観てしまっていました。その後思ったことは、やはり「郷土愛」。自身でも忘れていた郷土愛ではないか。どの人間にも故郷があり、そこに思い出がある。福祉においても『地域に根ざした福祉施設』とよくいうが、まさに郷土愛ではないか。現に、利用者の皆様とお話しする時も思い出話になるとすごく生き生きとしたお顔になっておられる。もっと、もっと、利用者の皆様とたくさんお話ししながら、たくさんの笑顔を見たいと思った今月でありました。(敏)

- 2月の行事**
- 3日 豆まき(元亀・風和・GH)
 - 6日 豆まき(通所)
 - 9日 書道教室(元亀の里)
 - 11日 誕生会(元亀・通所)
 - 11日 陶芸教室(通所)
 - 20日 書道教室(元亀の里)
 - 21日 書道教室(風和の里)
 - 28日 書道教室(風和の里)